

〔算数〕小5 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 (1) 1 $\frac{7}{15}$

【解き方】

$$\frac{1}{3} + \frac{2}{15} = \frac{5}{15} + \frac{2}{15} = \frac{7}{15}$$

(2) 2 $\frac{13}{12} \left[1 \frac{1}{12} \right]$

【解き方】

$$\frac{5}{6} + \frac{1}{4} = \frac{10}{12} + \frac{3}{12} = \frac{13}{12}$$

分母がことなる分数のたし算、ひき算は通分してから計算します。通分するときは、2つの分母の最小公倍数になるようにします。

(3) 3 $\frac{19}{20}$

【解き方】

$$\frac{1}{4} + \frac{7}{10} = \frac{5}{20} + \frac{14}{20} = \frac{19}{20}$$

(4) 4 $\frac{3}{10}$

【解き方】

$$\frac{4}{5} - \frac{1}{2} = \frac{8}{10} - \frac{5}{10} = \frac{3}{10}$$

(5) 5 $\frac{3}{2} \left[1 \frac{1}{2} \right]$

【解き方】

$$2\frac{1}{6} - \frac{2}{3} = \frac{13}{6} - \frac{4}{6} = \frac{9}{6} = \frac{3}{2}$$

(6) 6 $\frac{35}{36}$

【解き方】

$$\frac{8}{9} - \frac{2}{3} + \frac{3}{4} = \frac{32}{36} - \frac{24}{36} + \frac{27}{36} = \frac{35}{36}$$

2 7 え と か

28の約数は(1、2、4、7、14、28)
42の約数は(1、2、3、6、7、14、21、42)
です、最大公約数は、14になります。

3 (1) 8 14

(2) 9 36

4の倍数は、(4、8、12、16、20、24、28、32、36、40、・・・)
6の倍数は、(6、12、18、24、30、36、・・・)
9の倍数は、(9、18、27、36、・・・)
です、4と6と9の最小公倍数は、36になります。

4

10

午前 9 時 18 分

バスは 9 時 6 分、12 分、18 分、24 分、30 分、36 分・・・に出発します。
 列車は 9 時 9 分、18 分、27 分、36 分・・・に出発します。
 このように、同時に出発する時間 18、36・・・は 6 と 9 の公倍数です。

5

(1) 11

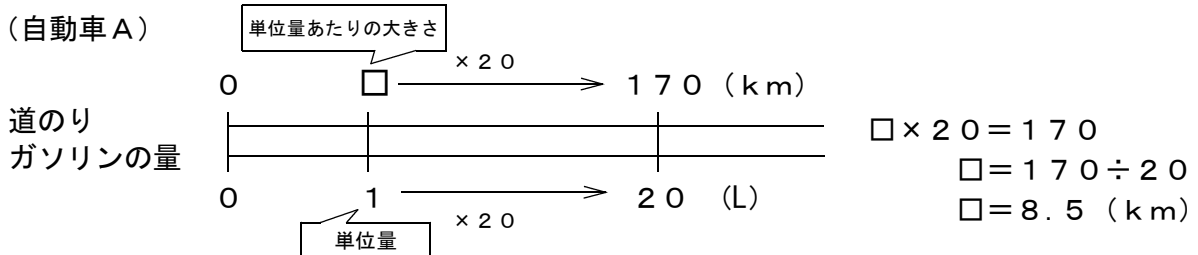
$$10 \div 6$$

(2) 12

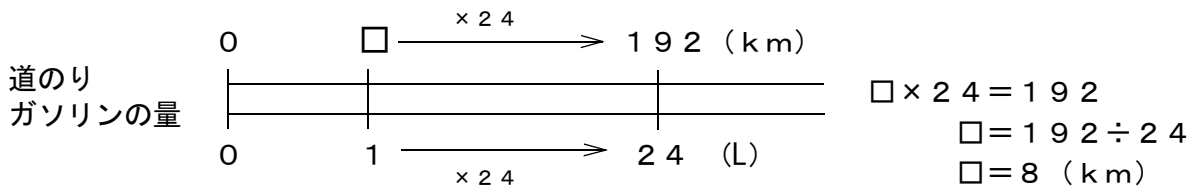
自動車 A

単位量あたりの大きさをそろえて、比較します。

(自動車 A)



(自動車 B)



6

13

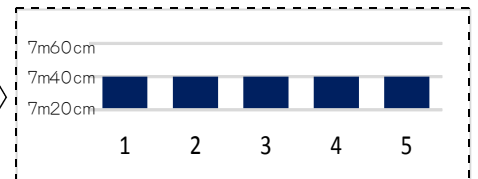
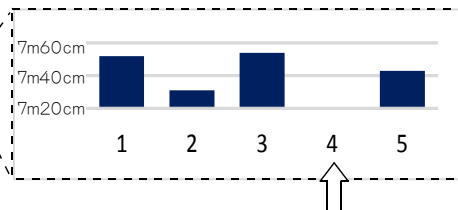
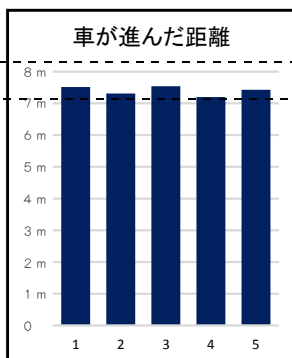
(例)

7 m 20 cm をこえた部分の平均を求めます。

$$(32 + 11 + 34 + 0 + 23) \div 5 = 20$$

もとにした 7 m 20 cm に、求めた平均の 20 cm をたします。車が進んだきよりの平均は、7 m 40 cm です。

- ① それぞれの記録と 7 m 20 cm との差を求め、
 平均を $(32 + 11 + 34 + 0 + 23) \div 5 = 20$ と求めること
 - ② きじゅんとした 7 m 20 cm に、求めた平均の 20 cm をたすと、車が進んだきよりの平均が、7 m 40 cm になること
- の 2 つのことがらが書かれていれば正解です。



5 回の記録のうち、最も少ない 4 回目の 7 m 20 cm を基準とすると、計算が簡単になります。
 グラフでみると、この部分でならしたことになる。